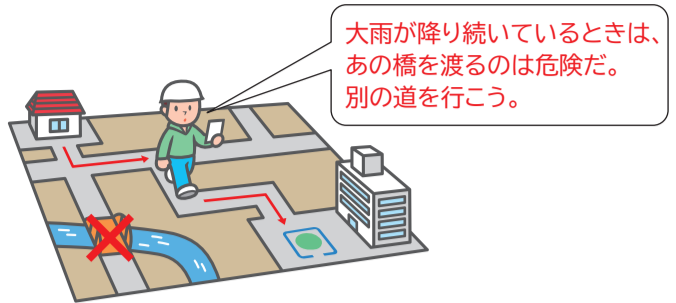


ハザードマップの活用方法

近年、集中豪雨等による水害が頻発しており、短時間で河川が増水したり、堤防が決壊したりして甚大な被害が発生する事例が増えてきています。洪水時の被害を最小限にするためには、平時より水害リスクを認識したうえで、氾濫時の危険箇所や避難場所についての正確な情報を知ることが重要です。

① 危険箇所を確認する

・洪水ハザードマップを見て、自宅とその周辺が浸水するおそれがあるかを確認しましょう。



② 防災情報を入手する

・台風の接近など、災害の発生が予想されるときは、事前に防災情報の入手に努めましょう。



③ 警戒レベルと避難行動を知る

・主に気象台から発表される防災気象情報や、敦賀市が発令する避難情報の内容に応じて、早めの避難を心がけてください。

あわてないように、非常持ち出し品をすくりに持ち出せる場所に置いておこう。

逃げ遅れた場合は、2階に避難しよう！



★敦賀市防災ハンドブックを併せて活用する

敦賀市では、災害への備えや、災害時に注意することなど様々な防災情報をまとめた「敦賀市防災ハンドブック」を市内全戸に配布しています。また、市のホームページでもファイルをダウンロード（PDF形式）できます。非常持ち出し品や備蓄品として用意するものなど避難に役立つ情報を掲載していますので、本ハザードマップと併せて活用してください。



敦賀市ホームページよりファイルをダウンロードできます。
https://www.city.tsuruga.lg.jp/relief-safety/bosai_pamphlet/bousaihandobukku.html

★いざというときの避難先と連絡先を記入しておく

最寄りの避難先		緊急時の連絡先	
名称など	名称など	名前	連絡先
		名前	連絡先
		名前	連絡先
		名前	連絡先

危険箇所を確認する

自宅がどのような危険区域に含まれているかを確認する

自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内にある、または浸水深が建物の最上階の床の高さを上回る場合は、洪水の発生によって生命に危害が生じるおそれがあるため早期に立ち退き避難が必要です。大雨が降り続けている場合は土砂災害が発生する危険性も高まるため、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域内に含まれる場合も早期に立ち退き避難が必要です。

区域分類	凡例	求められる避難行動	立ち退き避難
早期の立ち退き避難が必要な区域	早期の立ち退き避難が必要な区域 (氾濫流と河岸侵食の両方の範囲を含む)	堤防決壊等に伴う氾濫流、または河岸侵食により、木造家屋が倒壊するおそれがあるため 早期に立ち退き避難 を行う。	近隣の安全を確認できる場所まで一時的に移動すること(水平避難)
家屋が水没するおそれのある浸水想定区域	10.0m以上～20.0m未満 5.0m以上～10.0m未満 3.0m以上～5.0m未満	家屋の2階以上まで浸水し、家屋が完全に水没するおそれがあるため、 早期に立ち退き避難 を行う。	
土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊 土石流	大雨が降り続けているときは、土砂災害が発生する危険性が高まるので、 早期に立ち退き避難 を行う。	

浸水深が最大で建物の2階下までと想定される区域内でも立ち退き避難が望ましいですが、屋内の2階以上の高さで避難できる場合は、無理に避難場所まで移動せず屋内で安全を確保できるよう、備蓄品を2階に用意する等の準備が必要です。

1階まで浸水のおそれのある浸水想定区域	浸水想定区域外
1.0m以上～3.0m未満 0.5m以上～1.0m未満 0.5m未満	床上・床下浸水が想定されることから、 早期に立ち退き避難 を行うことが望ましい。または、自らの判断により屋内で安全を確保する。

用語の説明① 家屋倒壊等氾濫想定区域 (氾濫流、河岸侵食) について

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、家屋の倒壊や流失をもたらすような氾濫の発生が想定される区域をいい、家屋の倒壊・流失の原因に応じて、洪水の氾濫流による範囲と、洪水時の河岸侵食による範囲があります。本ハザードマップでは、これらの想定区域に含まれる範囲を**早期の立ち退き避難が必要な区域**として示しています。



用語の説明② 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域について

土砂災害のおそれがある区域について、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）により「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」が指定されています。

急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)	土石流	地すべり	土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
雨や地震などの影響で急激に斜面が崩れ落ちます。	土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へ押し流され、一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。	斜面が地下水の影響と重力で、ゆっくりと下方に移動します。土塊の移動量が大きいとき甚大な被害が発生します。	土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命、または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。
			土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)
			土砂災害が発生した場合に、住民等の生命、または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

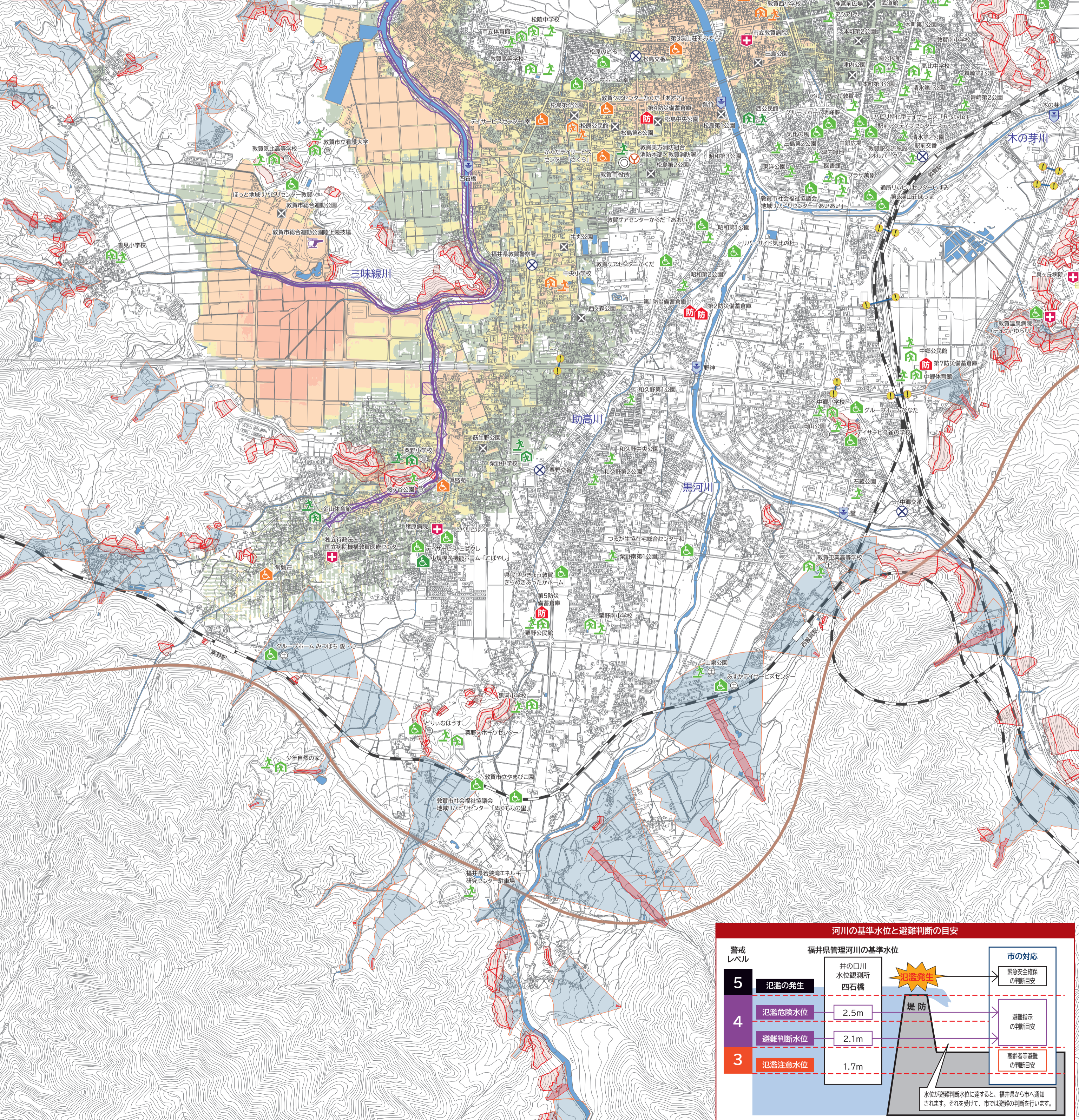
敦賀市 井の口川水系 洪水ハザードマップ (想定最大規模)

この地図は、敦賀市の中心部を流れる井の口川が、概ね1000年に一度の確率で起こる大雨(1日間の総雨量624mm)によって水位が上がり、堤防が決壊したりした場合において、あらゆるケースを想定し、浸水の予想される区域や浸水深を示すとともに避難に役立つ情報を取りまとめたものです。なお、この地図に掲載されている情報は、想定される降雨時に浸水する可能性のある範囲を示しているものであり、降雨の条件によっては他の範囲が浸水することもあります。

避難施設等の利用	凡例
指定避難所 指定緊急避難場所 福祉避難所	防災関連施設など 敦賀市役所 警察 消防署・分署 水位観測所
3階以上は利用可能 2階以上は利用可能 利用可能(1階は床下浸水)	医療機関 防災備蓄倉庫 水位観測所
全館利用可能(浸水なし) 浸水のため利用不可(公園等のオープンスペース)	ヘルパ緊急避難場所 鉄道 ボート場 アンダーパス(想定最大規模)

早期の立ち退き避難が必要な区域

早期の立ち退き避難が必要な区域
堤防決壊等に伴う氾濫流や河岸侵食によって家屋が流失・倒壊するおそれがある区域では、早期の立ち退き避難が必要です。
【令和2年6月16日公表】



洪水浸水想定区域 (外水) について

対象の河川: 井の口川水系(井の口川、三味線川)
 想定される降雨: 洪水ハザードマップに示す浸水区域は、福井県が指定した井の口川水系洪水浸水想定区域(計画規模及び想定最大規模)に基づき作成されています。
 この地図は、想定される降雨(想定最大規模)によって井の口川水系の河川が氾濫したときに、浸水が想定される区域とその浸水深の最大値を示しています。
 井の口川流域: 1日間の総雨量624mm (想定最大規模)
 【令和2年6月16日公表】

福井県ホームページ「洪水浸水想定区域(外水)の範囲」
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kasen/sinsuisoteturuga.html>

浸水深

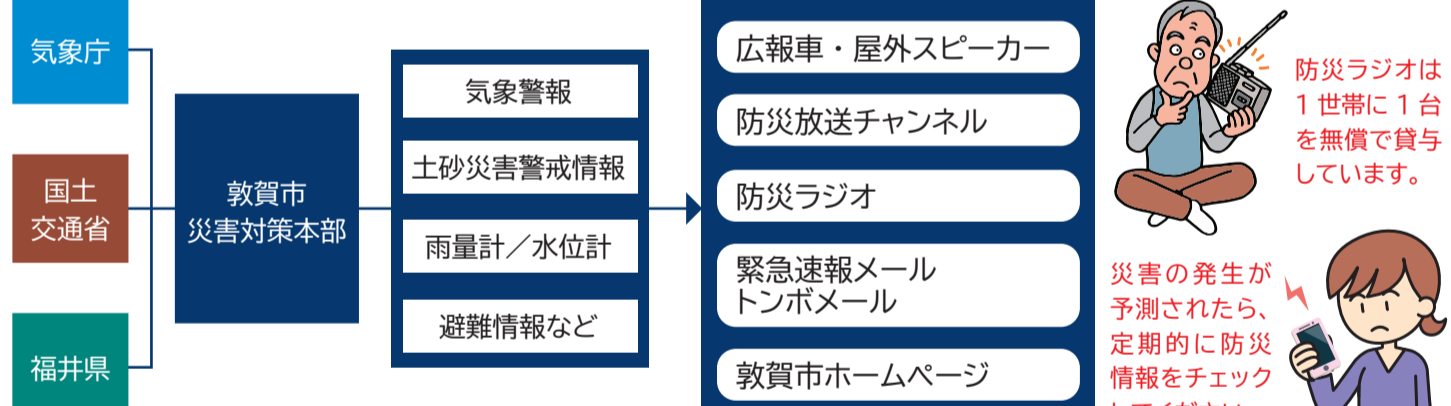
5.0m以上	10.0m未満	3階以上	床上浸水
3.0m以上	5.0m未満	2階	床上浸水
1.0m以上	3.0m未満	1階	床上浸水
0.5m以上	1.0m未満	1階	床上浸水
0.5m未満	0.5m未満	1階	床上浸水

浸水深が0.5mに達してから、0.5mを下回るまでの期間に浸水継続時間があります。敦賀市では、浸水継続時間が最も長く続く場合で、1日程度と想定されています。

防災情報を入手する

災害情報の伝達経路

災害の発生が予測される場合、以下のように災害情報が伝達されます。市民の皆様は、テレビ・ラジオ・携帯電話・インターネット等を活用して、積極的に情報収集をしてください。



防災情報の入手

<p>☑ 敦賀市防災メール (トンポメール) 事前登録必要</p> <p>避難指示などの災害情報や気象情報などをお知らせします。市外・県外にいても利用することができます。 bousai.tsuruga-city@raidzen2.ktaiwork.jp</p> <p>上記メールアドレスに空メールを送信または、右のQRコードから登録</p>	<p>🐦 敦賀市防災情報配信 (ツイッター)</p> <p>https://twitter.com/tonbo_tsuruga 敦賀市の防災情報用ツイッターアカウント</p> <p>敦賀市 (公式) アカウント @tonbo_tsuruga または、右のQRコードから登録</p>
<p>🌐 敦賀市ホームページ</p> <p>https://www.city.tsuruga.lg.jp/index.html トップページに緊急情報を表示します。</p>	<p>📄 Yahoo! 防災速報 事前登録必要</p> <p>https://www.city.tsuruga.lg.jp/about-city/news_from_division/shimiseika_tsu_bu/kikikanritaisaku_ka/06900002020092.html 緊急地震速報や豪雨予測などをお知らせします。</p>
<p>✉ i-ame メール (福井県河川・砂防総合情報メール) 事前登録必要</p> <p>http://i-ame.ame.pref.fukui.lg.jp/ 河川や土砂災害の危険情報をリアルタイムでお知らせします。</p>	<p>📄 福井県防災ネット</p> <p>https://www.bousai.pref.fukui.lg.jp/dis_portal/index.html 県内の雨量情報、避難情報、開設避難所、警戒体制、道路規制情報、その他情報を表示します。</p>
<p>🌐 福井県水害ハザード情報</p> <p>http://sabogis.pref.fukui.jp/FukuifI/login.asp 大雨等により河川が氾濫した場合に浸水が想定される浸水想定区域や過去の浸水実績、浸水写真、避難所等の情報を掲載した地図を公開します。</p>	<p>🌐 福井県河川・砂防総合情報</p> <p>http://ame.pref.fukui.jp/ 県内の河川・砂防に関する観測情報、洪水予報、気象情報、土砂災害警戒情報(補足情報)などを表示します。</p>
<p>📡 防災情報伝達システム (屋外スピーカー)</p> <p>災害の状況や敦賀市からの避難情報などを、CATVネットワーク及びWIMAXネットワークによりお知らせするシステムです。</p>	<p>📧 緊急速報メール (エリアメール)</p> <p>敦賀市では、携帯電話のサービス「緊急速報メール」を利用して、災害・避難情報などの情報を配信します。(詳しくは携帯電話各社のホームページ等を確認してください)</p>
<p>📺 防災放送チャンネル (092ch)</p> <p>テレビを「地デジ」に切り替えて、「092」チャンネルに合わせてください。 ● 敦賀市からの緊急放送(避難情報など) ● 気象情報(気象警報、竜巻注意情報など) ● 防災情報(自然災害、原子力災害)</p>	<p>📄 NTT 西日本 災害用伝言ダイヤルホームページ</p> <p>https://www.ntt-west.co.jp/corporate/disa.html</p>

警戒レベルと避難行動を知る

警戒レベルと避難行動

警戒レベル	皆ささんがとるべき行動	市から発令する避難情報等	防災気象情報 気象名、気象庁、福井県が発表	マイ・タイムライン 自分の避難行動計画を記入(状況に応じて活用)
警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保!	災害が発生、又は切迫しています。命の危険があるため、直ちに安全確保しましょう。	緊急安全確保 必ず安全な場所ではありません。	警戒レベル5相当 氾濫発生情報 大雨特別警報	身の安全を確保する時期
<警戒レベル4までに必ず避難>				
警戒レベル4 危険な場所から全員避難	災害のおそれが高い状況です。危険な場所から全員避難しましょう。	避難指示	警戒レベル4相当 氾濫危険情報 氾濫警戒情報 土砂災害警戒情報	避難を開始する時期
警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難	災害のおそれがある状況です。危険な場所から高齢者等は避難を始めましょう。	高齢者等避難*	警戒レベル3相当 氾濫注意情報 洪水警戒 大雨警戒	
警戒レベル2 自らの避難行動を確認	自宅等の災害リスク、避難場所・経路、避難のタイミング、避難情報の把握手段を再確認するなど、避難に備えましょう。		警戒レベル2相当 洪水注意報 大雨注意報	
警戒レベル1 災害への心構えを高めよう。			警戒レベル1相当 早期注意情報	雨風が強くなる前の時期

災害用伝言ダイヤル171 / Web171

災害時は電話がつながりにくくなります。家族や知人の安否確認には、「災害用伝言ダイヤル171」「災害用伝言板Web171」を利用しましょう。

録音 伝言の録音方法 「171」▶「1」▶市外局番からダイヤル(XXXX)XX-XXXX ▶伝言を登録する

再生 伝言の再生方法 「171」▶「2」▶市外局番からダイヤル(XXXX)XX-XXXX ▶伝言を聞く

被災地の方 自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号

被災地以外の方 連絡を取りたい被災地の方の電話番号

※携帯電話による利用もできます。詳細は

インターネットでのお手続きはこちらから
<https://www.web171.jp>

